

■After 建築名称 下段: 英語名	扇屋旅館 Ogiya Ryokan		
建築用途	大分類 宿泊施設	小分類 旅館	
改修設計者	SALHAUS	<a href="#">URL</a>	
所在地	新潟県村上市田端町10-15	<a href="#">Google Map</a>	
改修年	2012年	After	増改築を繰り返し複雑な外観が方形の庇で整えられた中庭。
建築規模	構造: 木造、延床面積: 1,117.40㎡(新築部分228.71㎡、改修部分888.69㎡)	撮影者 提供者	撮影: 矢野紀行 提供: SALHAUS
掲載書誌	新建築 2020年3月号、NIKKEI ARCHITECTURE 2013-2-10	概要 after	駅前旅館の再生計画。閉ざされていた中庭を街に開き、旅館の持つ諸機能と雑多な建築群を再編。観光客と地域の人々の両方が集い、出会うことのできる場所に改修。
賞・選定	北陸建築文化賞(2013年度)、JID賞ビエンナーレ大賞(2014)、東京建築賞 最優秀賞一般部門一類(2014)		
資料・その他		URL	
■Before 建築名称	扇屋旅館	概要 before	新潟県村上市駅前で80年以上営業している旅館。長年増改築が繰り返され旅館経営とオーナーの家族の生活が混然一体となっていた
建築用途	大分類 宿泊施設	小分類 旅館	
■写真 Before 改修前の外観	After 改修後の外観。左より、旅館入口、カフェ入口、中庭への通路	After	食堂と厨房をカフェに改修
			
撮影者 提供者	提供: SALHAUS	撮影者 提供者	撮影: 桐原武志 2024年 撮影: 矢野紀行 提供: SALHAUS
■リノベーション内容	キーワード 再編、補強、痕跡	内容	< SALHAUS Websiteより引用 > 80以上に渡り増改築を繰り返してきた駅前旅館の再生計画。敷地内にオーナー住宅を新築することを契機として、耐震補強を含む全面改修を行った。着目したのは既存の中庭である。通りに対して閉ざされていた中庭を減築によって街に開き、それを核として旅館と住宅の諸機能と、雑多な建築群を再編した。改修にあたっては既存部分と改修・新築部分を対比的に扱うのではなく、全体に緩やかな統一感を与えるよう心掛けた。新設した庇により中庭には明確な輪郭を与えたが、その他の部位は場所ごとに既存の状況を生かしながらデザインすることで新築では得られない多様性をもつ建築となった。中庭と諸室の間には庇とデッキで緩衝領域をつくり、さらにルーバー、建具等で相互の距離感を調整することで、多様な人々が居心地よく共存できる状態をつくり出した。また、既存樹木や庭石、建具等に手間を加えて再利用し、長年親しまれてきた空気感を残すことにも留意した。新しい中庭は、この地を訪れる観光客、宿泊客にも、地域の人々にも開かれた新しい公共空間として生まれ変わった。全国どこの地方都市にもある駅前旅館という既存ストックの再生を、地域の活性化に繋げる試みである。
■備考			
■作成者 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会	作成協力 者	SALHAUS